



## 高専を活用した経産省中小企業 人材育成講座の感想

都立産業技術高専

ものづくり工学科教授 吉田喜一

経済産業省が予算をつけて高専で中小企業の後継者対策講座を開いています。ウイークデイの夜、土曜日曜に無料講座を行っています。出前講座も無料でやります。その感想です。

私どもの会社は有限要素法というシミュレーション技術により機械系エンジニアの設計予測やトラブル原因等の調査の支援を行っております。近年、シミュレーションソフトの普及により解析技術が信頼できるとの認識が広範の分野で広がっており、シミュレーションの需要は急速に増えていますが、日本国内で企業の現場レベルで必要とされる解析をサポートできる会社はほとんど存在しません。ソフトを導入したユーザーは、さんざん何でも「できる、できる」と言っている。たはりの代理店からは、購入直後から冷たく扱われ、はしごをはずされたあげく路頭に迷うこととなります。・・・この中で試験片の加工や試験等は外注しているためなかなか実際に自らふれる機会がありません。しかし工学とは机上の学

習に加えて、実際に体験したかどうかという経験が非常に重要である事も真実です。そのため今回の講座のように実際に実習できることは当社にとってはたいへんありがたい機会でした。

以下は、具体的にどんな点に満足しているかの質問に対する答です。

◆ 授業のリズム・テンポの良さ、充実に満足しています。

◆ 高価なソフトや機器を実際に操作し体験できた。

◆ 教授陣が丁寧に分かりやすく講座を行ってくれた。

◆ 仕事で活かせる知識を学ぶことができた。

◆ 講義内容と実習が直結している点。派遣企業（社長あるいは上司）フリーアンサーは以下の通りである。

■ 新入社員の中には当社の業務に関連する知識を直接学んでいる場合もある。基礎的な事から応用まで実践的に学べる。ことができ満足している。参加した職員も非常に分かりやすかったと聞いている。

■ 現場力にあつた講師の先生方のきめ細かいスケジュールでのわかりやすく無理のない指導方法。社員のスキルアップとやる気とのつながり。

■ 派遣職員の受講報告からも役立っていると判断できる。

■ 社内教育で出来ない、基本からの教育（資格取得に必要な）

■ 高専の教授陣に直接講習を行って頂くことにより業界の最先端事例や応用的内容に触れることが出来、若手従業員の大きなモチベーションアップになった事

と思っています。

先日、ある新聞（※東京新聞ではありません）の読者投書欄に、次のような投稿がありました。

「20年近く使った冷蔵庫が壊れたらしく、全く冷えない。メーカーに修理を頼もうと思ったが、前に温水暖房便座が壊れた際に、修理を頼んだメーカーから『買い換えた方が安い』と言われたのを思い出して、自分で冷蔵庫を分解してみた。すると、内部に永久凍土のように氷がついていたので、融かしてから組み立てると、嘘のようによく冷え、直ってしまった。不用品に出さないでよかった。」

私は、この投書を読んで、確かに同情できる部分もありますが、一方で消費生活アドバイザーとして考えた場合に二つ問題点があると感じました。

一つは、この方は電気製品のプロではない、一般の消費者です。素人が家電製品をむやみに分解することは、思わぬ事故の元になりかねないと感じた点です。一つ間違えば、感電や発火の危険があります。事故には至らなくても、製品の正しい性能が発揮できない恐れもあります。もう一つは、古い電気製品、特に冷蔵庫やエアコンの類は、最近のそれに比べ



## 買い換えは損？得？環境に優しい？

先日、ある新聞（※東京新聞ではありません）の読者投書欄に、次のような投稿がありました。

「20年近く使った冷蔵庫が壊れたらしく、全く冷えない。メーカーに修理を頼もうと思ったが、前に温水暖房便座が壊れた際に、修理を頼んだメーカーから『買い換えた方が安い』と言われたのを思い出して、自分で冷蔵庫を分解してみた。すると、内部に永久凍土のように氷がついていたので、融かしてから組み立てると、嘘のようによく冷え、直ってしまった。不用品に出さないでよかった。」

私は、この投書を読んで、確かに同情できる部分もありますが、一方で消費生活アドバイザーとして考えた場合に二つ問題点があると感じました。

一つは、この方は電気製品のプロではない、一般の消費者です。素人が家電製品をむやみに分解することは、思わぬ事故の元になりかねないと感じた点です。一つ間違えば、感電や発火の危険があります。事故には至らなくても、製品の正しい性能が発揮できない恐れもあります。もう一つは、古い電気製品、特に冷蔵庫やエアコンの類は、最近のそれに比べ

て著しく消費電力が大きい点です。すなわち、無駄な電気代がかかり、使い続けるほど家計にも環境にも優しくありません。資源エネルギー庁のパンフレット「日本のエネルギー2008」（※ホームページから閲覧可能）では、近年の省エネルギー性能の向上が進んだ家電製品の例が紹介されています。冷蔵庫の年間消費電力量は92年度のものに比べ、何と約28%の省エネになっていると記されています。

物を作るためには資源やエネルギーが必要。だから、投書の投稿者のように、安易に捨てずに修理して使いたいという考えは尊重されるべきです。しかし、家電製品の場合は、技術の進歩によって省エネ化が進んでおり、適度な期間で買い換えて（もちろん、古い物には感謝して、きちんとリサイクルに出しましょう）いく方が、結局は家計にも環境にも優しい場合があるのです。

【消費生活アドバイザー  
佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆  
南千住5丁目43の13【コッ通り】  
TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★  
平日・土曜：AM 10時～PM 7時  
30分  
日曜・祝日：AM 11時～PM 6時  
30分

◎9月29日、10月1、11、21、28日は休業日でございます。

◎9月28日は、午後3時で終了いたします。9月30日は、午後3時から営業いたします。【時刻変更】

2008

2008

